

問1 鎌倉時代に起こった承久の乱の背景や経過について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。
2. 後醍醐天皇が幕府を倒そうと兵を挙げ、足利尊氏や新田義貞の協力によって、長年続いた鎌倉幕府を滅ぼした。
3. 源頼朝の死後、北条氏が実権を握ったことに反発した平氏の残党が、西国で反乱を起こして幕府軍と戦った。
4. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに守護大名が二つの勢力に分かれて争い、京都を中心に11年に及ぶ戦乱が続いた。

問2 鎌倉時代後半、近畿地方を中心に活動し、荘園領主や幕府の命令に従わず、武力で抵抗した武士や地主などの集団を何と呼びますか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 防人
2. 悪党
3. 地頭
4. 御家人

問3 承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、敗れた朝廷の監視や京都の警備、および西日本における支配を強化するために、新たに京都の拠点へ配置した役職として適切なものを選びなさい。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 執権
2. 六波羅探題
3. 問注所
4. 鎮西探題

問4 フビライ=ハンが日本に対して大規模な軍を派遣した「蒙古襲来（元寇）」に至る経緯や背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 高麗を服属させた後、日本に対しても服属を求める国書を送ったが、鎌倉幕府がこれを黙殺・拒否したため出兵した。
2. 日本が南宋と結んで元を攻撃しようとしたため、その防衛策として先手を打って日本への遠征を決定した。
3. 室町幕府の足利義満が元との国交を断絶したことに抗議し、貿易の再開を求めて大規模な艦隊を派遣した。
4. 一度目の遠征（文永の役）において、元軍は日本軍を完全に制圧して九州を占領し、長期間の統治を行った。

問5 鎌倉幕府において、将軍が御家人のもともとの領地を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする行為に対し、御家人が軍役や警備によって忠誠を誓った主従関係を何といいますか。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 御恩と奉公
2. 寄進と安堵
3. 地頭と守護の設置
4. 封建的な寄進地系荘園

問6 鎌倉時代の将軍と御家人の間には、土地を仲立ちとした主従関係が結ばれていました。御家人が軍役や京都の警護などを担う「奉公」に対し、将軍が御家人の先祖伝来の所領を認めたり、手柄に応じて新たな土地を与えたりしたことを何といいますか。（2018年 滋賀公立入試 類似）

1. 御恩
2. 知行
3. 封建
4. 寄進

問7 鎌倉時代、将軍と御家人の間には土地を仲立ちとした主従関係がありました。将軍が御家人の領地支配を認めたり、手柄に対して新たな土地を与えたりすることを「御恩」と呼びますが、対して御家人が戦時に軍役を果たしたり、幕府の警護を行ったりする義務を何と呼びますか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 奉公
2. 寄進
3. 公事
4. 役事

問8 一二二一年に起きた承久の乱について、この出来事が起こされた目的と、中心となった人物の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。（2022年 高知公立入試 類似）

1. 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。
2. 後醍醐天皇が、足利尊氏と協力して鎌倉幕府を倒すために兵を挙げた。
3. 平清盛が、武士として初めて太政大臣になり政治の実権を握るために兵を挙げた。
4. 北条時宗が、元軍の襲来に備えて全国の武士を統制するために命令を出した。

問9 鎌倉時代に中国から伝えられた仏教の一派で、座禅によって自ら悟りを開こうとする教えを持ち、その厳格な精神修養が当時の武士の気風に合致して支持された宗教を何といいますか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 禅宗
2. 浄土宗
3. 日蓮宗
4. 浄土真宗

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。	朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇は、北条氏を中心とする幕府に対して討伐の命令を下しました。これに対し、源頼朝の妻であった北条政子が「頼朝公の恩は山よりも高く海よりも深い」と御家人たちに訴えて結束させたことが、幕府軍勝利の大きな要因となりました。
問2	答え 2 悪党	鎌倉時代後半になると、従来の社会秩序が乱れ、幕府や荘園領主に対して公然と反抗する勢力が登場しました。彼らは既成の権威を否定する「悪（強い、恐ろしい）」存在としてこのように呼ばれ、年貢を奪ったり武力衝突を繰り返したりすることで幕府の支配体制を揺るがしました。後の南北朝の動乱においても重要な役割を果たすこととなります。
問3	答え 2 六波羅探題	乱の結果、幕府は朝廷側の領地を没収して御家人たちに分け与え、西日本への支配力を急速に強めました。それまで朝廷の影響力が強かった京都や西日本の動向を常時監視し、統制するためにこの役職が設置され、北条氏の有力者が任命されました。
問4	答え 1 高麗を服属させた後、日本に対しても服属を求める国書を送ったが、鎌倉幕府がこれを黙殺・拒否したため出兵した。	フビライ=ハンは朝鮮半島の高麗を服属させた後、日本を自らの支配体系に組み込むため、重ねて国書を送りました。しかし、当時の執権・北条時宗がこの要求を拒み、使節を追い返したり処刑したりしたことが、武力侵攻の直接的な原因となりました。この背景には、当時の東アジアにおける元の圧倒的な勢力拡大がありました。
問5	答え 1 御恩と奉公	鎌倉時代の主従関係は土地を媒介としていました。将軍が御家人に対して行う「御恩」には、先祖伝来の領地を保証する「本領安堵」や、新しく領地を与える「新恩給与」があります。これに対し、御家人が将軍に対して「奉公」として軍役や警備（京都大番役・鎌倉番役）を果たすことで、この封建的な契約関係が成立していました。
問6	答え 1 御恩	鎌倉将軍と御家人の結びつきは、互いに利益を与え合う「御恩と奉公」の関係に基づいています。将軍側が行う、御家人の本領安堵（所領の保証）や新恩給与（新たな土地の付与）をまとめて御恩と呼びます。これに対し、御家人が命がけで戦うことや幕府の役職に就くことを奉公といいます。
問7	答え 1 奉公	将軍と御家人の結びつきは、土地を基盤とした双方向の契約関係にありました。将軍から受けた「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という緊急時の軍役や、京都・鎌倉を警備する番役などを通じて義務を果たす必要があり、これを「奉公」と言います。
問8	答え 1 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。	鎌倉時代初期、幕府の実権を握る北条氏に対して、朝廷の政治的権威を復活させようと計画したのが後鳥羽上皇です。一二二一年に上皇は北条義時の追討を命じましたが、北条政子の演説によって幕府軍が団結し、短期間で朝廷軍は敗北しました。よく似た出来事として、後に鎌倉幕府を滅ぼす後醍醐天皇の動きがありますが、年代や人物を混同しないように注意が必要です。
問9	答え 1 禅宗	鎌倉時代には、それまでの貴族中心の仏教に代わり、武士や民衆の心をつかむ新しい仏教が次々と誕生しました。その中でも、自ら座禅を組み精神を統一することで悟りに至るという教えは、死生観や自己規律を重んじる武士の生き方と深く結びつき、鎌倉幕府の保護を受けて発展しました。栄西が伝えた臨済宗や、道元が伝えた曹洞宗がその代表です。